



ゆふいんだより



新春ご挨拶



あけましておめでとうございます。

事務長の國分と申します。湯布院病院に赴任して2回目の新年を迎えます。

皆さまにおかれましては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後初めての新年で久しぶりに親しい家族、ご親戚、ご友人と集うことができる正月を迎えられていることと思います。

病院は健全経営を目指し経営改善を行っているところですが、今年は「診療報酬改定」及び「介護報酬改定」のダブル改定が控えていて、病院経営にどのような影響をおよぼすか心配しています。さらに「医師の働き方改革」の施行、「第8次医療計画」及び「地域医療構想」の策定と医療を取り巻く環境はますます厳しくなると考えられています。このような状況にあっても、当院の基本方針にあります地域に根ざし、地域に感謝され、地域に真に必要な病院になるため、患者さんはじめ地域の皆さまの期待に応えられるよう職員とともに全力で地域医療に取り組んでいきたいと思っています。

また、開かれた病院、安心安全な医療を目指し、コロナ禍で中止していました、市民公開講座やオレンジカフェを昨年12月より再開していますので、地域の皆さまの参加をお待ちしています。

さて、2024年の干支は、「甲辰（きのえ・たつ）」だそうです。陰陽五行説では「春の日差しがあまねく成長を助く年」になるようで、春の暖かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ急速な成長と変化を誘う年になりそうです。また、「昨年まで努力したことが実を結んで成就する年」とも言われております。春の暖かい日差しを受け、皆様が昨年努力したことが実り多い年になることを祈っております。

今年も湯布院病院をどうぞよろしく願いいたします。



JCHO 湯布院病院 事務長
國分 克典

白内障手術・眼瞼下垂手術

令和2年11月より眼科外来を開設し、現在白内障手術・眼瞼下垂手術に対応しております。

外来診療 月曜日・金曜日 受付時間 13:30～16:00

■白内障 片眼ずつの対応 第1・2木曜 ■眼瞼下垂 第4木曜

白内障手術の方の入院の流れ

■手術3日前～前日

抗生剤の目薬を開始します。
朝・昼・夕・寝る前 1日4回 両眼に点眼します。



■手術当日

10時～11時ごろに来院してください。
午後 目薬・着替えなどをしてから手術室に移動します。

■術後

眼帯は翌日までつけたままで過ごします。
翌朝まで食事・トイレ以外は安静です。



■手術翌日

昼食後診察です。診察後問題なければ退院です。

■以降

手術した目を抑えたりこすったりしないようにしてください。
保護メガネは寝る時に1週間程度使用します。

手術実績

■白内障

R3年度(9月以降) 40件
R4年度 78件
R5年度(11月まで) 41件

■眼瞼下垂

R5年度(7月～11月) 12件



Japan Community Healthcare Organization

独立行政法人 地域医療機能推進機構(JCHO)

湯布院病院

〒879-5193 大分県由布市湯布院町川南252

〈代表〉

TEL:0977-84-3171・FAX:0977-84-3969

〈地域医療連携室直通〉

TEL:0977-84-5277・FAX:0977-84-5890

<https://yufuin.jcho.go.jp>

湯布院病院

検索



JCHO湯布院病院

接客研修「おもてなしの心を大切に…」

R5年10月3日（火）



講師に中野由美先生を迎え、接客研修を開催しました。
 コロナ禍を経て、久しぶりの対面での院内研修に68名の参加がありました。中野先生は、客室乗務員として身に付けられた接客に加え、病気を経験した患者側の立場で医療従事者に求める接客について長年研修をされています。ロールプレイングを交えた研修内容で、言葉使い、しぐさなど普段の自分自身の接客について振り返る良い機会となりました。「接客で病院は変わることができる」との熱いメッセージを届けていただきました。教えていただいた言葉使いなど、意識的に活用していきたいと思えます。



接客の5原則

1. 挨拶
2. 言葉
3. 笑顔
4. 態度
5. 身だしなみ

挨拶で心がけること

- あ：あかるく
- い：いつも
- さ：さきに
- つ：つづける



オレンジカフェ



オレンジカフェとは？

「認知症カフェ」のことです。軽度若年性を含む認知症の方やそのご家族と専門職・地域の人・ボランティア・学生さんなどが参加し、交流することでみんなで支え合う場となっています。

約4年ぶりに病院内でのオレンジカフェを再開しました。地域住民の方の参加や地域包括支援センターのスタッフにもご協力いただき、交流の場を持つことができました。



11月6日 体操



12月11日 語り合い

今後も、医師、看護師、リハビリスタッフ、栄養士、薬剤師、社会福祉士など、様々な専門職の立場からいろいろな関わりができればと考えています。

↓そこで、オレンジカフェでの地域交流をさらに発展させていくために

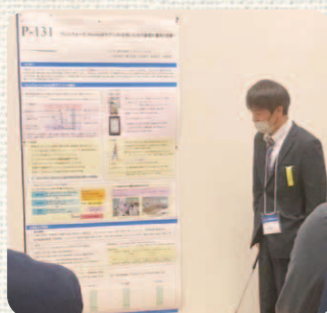
第8回 JCHO 地域医療総合医学会

JCHO

テーマ：「ポストコロナの地域医療戦略」
 会期 R5年12月8日（金）9日（土）三重県総合文化センター
 会長 JCHO 四日市羽津医療センター 院長 住田 安弘 先生
 特別講演 「がん体験は命の勲章」
 講師 宮本亜門（演出家）



当院からは9名の職員が発表参加しました。
 業務改善の取り組みや看護の関わり、リハビリの成果などを検証し、発表する機会を持つことは、医療の質を向上させるために重要であると再認識することができた学会でした。



市民公開講座 再開します

ぜひ、ご参加ください。

日時：毎月 第2・4 木曜日 11:30～12:00
 場所：病院1階 正面玄関テレビ前フロア
 参加方法：事前申し込み不要



12月4日 糖尿病予防教室



12月18日 認知症について

今後の予定：1月11日 「知っていますか？薬のリスクと使い方」 薬剤部長
 1月25日 「放射線検査について」 診療放射線技師長

